



千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.1.19 No. 3724

228 「分割・民営化」10年を問う シンポジウムに総集しよう

暴き捉え検証し 展切主を道守きだそう

「分割・民営化」10年を問うシンポジウムが来月二月二八日、東京・南部労政会館において開催される。

昨年JR発足後五年を経ずして、一挙に噴き出した「分割・民営化体制」の矛盾と危機は、この九三年、間違いない音をたてて崩壊の道を進むことは言を待たない。

このシンポジウムは、この「分割・民営化」攻撃一〇年間の軌跡と事実を、国鉄労働者の視点から暴き、捉え、検証し、第二の「分割・民営化」攻撃に対する、国鉄労働運動の側からの勝利への展望と教訓を導きだすものとして決定的に重要な位置を持っている。

合理化と労働強化 の実態を暴け!!

その大まかな骨子は、第一に、この一〇年間に国鉄労働者を襲った合理化と労働強化の実態を、現場労働者自らの視点からその現実を暴きだすことにある。

合理化の嵐が何を今もたらしているのか、労働強化と労務管理が表裏一体のものとしてかけられた結果、どれほどの危機が進行し、職場がなぜ労働監獄のような状況にまで行きついたのか、なぜこれほどまでに安全の危機に直面しているのかを、事実に基づく実態を突き出すことにある。

第二に、「国鉄分割・民営化」攻撃を最大の焦点として進められた、「戦後政治の総決算」攻撃により、日本という国家の基本的性格そのものが、根本的に転換させられたということを明らかにすることにある。

一〇年前と現在、自分たちが置かれている状況の変化には凄まじいものがある。総評は解散し「連合」が登場、「国際貢献」の名の下にPKO自衛隊が海外に派兵されるまでに行きついたので！要は、この「臨調・行革」攻撃の意味を捉えることなしに、「分割・民営化」攻撃の真の意図が見えてこないと言ふことなのである。

第三は、「分割・民営化」＝JR発足後の六年間を具体的に、その前提条件の崩壊を、累積債務問題を始めとして検証することを通して、打倒への道を展開するところにある。

闘いの主人公へ 国鉄労働者よ 決起せよ!!

国鉄労働運動の最後の解体を策した「国鉄分割・民営化」攻撃は、動力千葉の一波・二波闘争と、その後の清算事業団闘争の爆発の前に、逆に再生への萌芽を内胎しながら、「解体」の目的を失いつつ崩れ去ろうとしている。であるがゆえの攻撃の激化はより必至であり、必死なのだ。さらなる闘いへの指標として、全組合員は総力をあげて、二・二八「分割・民営化」10年を問うシンポジウムに結集しよう！この闘いの主人公は国鉄労働者なのだ！

1.10 三里塚芝山 連合空港反対同盟 旗開き盛大に開催される!

三里塚芝山連合空港反対同盟は、九三年の闘いの幕開けを告げる「旗開き」を、成田空港に隣接する岩山記念館において開催し、一〇時の開会時点では立錐の余地もないほどの人氏が全国から結集した。「同盟の勝利は不動」という力強い闘争宣言が発せられ、北原事務局長からも「成田を軍事使用させない」と同盟の決意が語られ、敷地内の市東さんも「三・二八全国集會は私の畑で行なう、結集を」と強く訴えた。

動力千葉も中野委員長を先頭に代表が参加し、二八年目に突入した反対同盟の闘いが勝利するまでともに闘いぬくことを誓った。

全力で「三・二八三里塚」に結集しよう!



[28年目の旗開き、]
[勝利近し!!]